

J Aグループ鳥取自己改革推進レポート（1月号）

1. J Aグループ鳥取の取り組み

J A会館に懸垂幕を設置

J Aグループ鳥取は1月17日、J A会館に第50回J A鳥取県大会スローガンの懸垂幕を設置した。

「協同の力による持続可能な農業・地域の未来づくり～不断のJ A自己改革でさらなる進化～」と記した長さ25メートル、幅1メートルの懸垂幕は多くの組合員や地域住民にJ A自己改革への一層の関心や興味を持ってもらえるよう掲げた。

J A鳥取県中央会の栗原隆政会長は「大会決議実践工程表の着実な実践が不可欠。J Aグループ鳥取の役職員一人ひとりが結束して取り組もう」とJ A自己改革が一層進むことを期待した。

今後も大会スローガンを様々な場面で活用し、J Aグループ鳥取の取り組みを発信していく。



2. J A全農とっどりの取り組み

県内空港で「星空舞」をPR

12月28日（火）に鳥取砂丘コナン空港と米子鬼太郎空港の2ヶ所で「星空舞」のPRを行った。

コロナ禍でこれまで故郷へ帰ってこられなかった方々へ「星空舞」の良さを知っていただくとう企画。当日は星空舞4合分とオリジナルクリアファイルなどのセットを約600名様へプレゼントした。



3. J A鳥取信連の取り組み

久松山の美化活動の実施について

本会では、地域貢献活動の一環として、11月13日(土)に本会役職員38名による久松山および山麓の美化活動を行った。

当日、午前9時にJ A会館に集合し、若桜街道筋、智頭街道筋それぞれ2班に分かれ徒歩で久松山に向かった。移動中も道沿いのごみを拾いながら山頂を目指した。体力的にもきつい美化活動となったが、各自がゴミ袋いっぱいになるまで取り組んだ。

今後も、地域貢献活動を継続して実施していく。



4. JA共済連鳥取の取り組み

令和3年度JA自動車共済利用者満足度調査結果（速報値）について

JA自動車共済では、利用者の事故対応サービスに対する評価およびニーズの把握と事故対応サービスの質的向上等を目的として、平成18年度から自動車共済へ共済金請求をされた契約者を対象に利用者満足度調査を実施している。

調査の特徴として、「総合満足度」の総合評価の他に、より契約者の声に耳を傾けられるよう事故処理の工程別に設問を設定し、特に各JAでは「最初の事故連絡時の対応」、「現場急行での対応」などの工程に積極的に取組まれ、利用者の皆様に「安心」と「満足度」を提供している。

令和3年度鳥取県は前年同様目標を96.0%に掲げており、令和3年11月末の「総合満足度」は、95.6%（全国順位は22位）と全国平均と同水準の結果となっている。

また、令和2年度から事故対応リレーションシステムが導入されたことに伴い、LAやスマイルサポーターの方々を中心にLablet's（携帯用端末）を活用した現場急行を実施し、スムーズな事故受付を積極的に展開している。

◆令和3年度 自動車共済利用者満足度調査結果（速報値）

自動車共済利用者満足度調査

①総合満足度

JA名	令和2年11月末	令和3年11月末
鳥取いなば	94.5%	94.7%
鳥取中央	96.7%	97.7%
鳥取西部	97.5%	94.6%
県合計	96.4%	95.6%
全国平均	95.2%	95.6%



アンケート回収月：令和3年4月～令和3年11月

以上